

【議案第10号】令和3年度鯖江市一般会計補正予算第14号

市職員の早期退職者に対する職員補充の対策は？

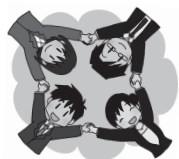
問 今回の退職手当費 1,901 万 4 千円の補正については、定年退職者10人以外の早期退職者が5人となったことによるものとのことであるが、新年度に向けて職員の補充は行っているのか。

答 市としても可能な限り、職員を補充したいと考え、職員採用試験を4回実施したところである。

問 どの早期退職者も、退職理由は家庭の事情や個人的な事情とのことだが、働き盛りの職員が早期退職していることを考えると、家庭の事情等だけでなく、職場環境としての問題はなかったのか。

答 慰留はしてきたが、家庭の事情や個人的な価値観や人生観を持つ職員については、これまでも、なかなか退職を止めることはできなかった。また、職場環境によって、退職に追い込まれるようなことは、これまで同様、今後もあってはならないことであり、職場環境の改善を図りながら、働きやすい環境づくりに引き続き努力してまいりたい。

人材確保



【議案第2号】令和4年度鯖江市一般会計予算 シティプロモーション活動の最終的な目的とは？

問 これまでに取り組んできたシティプロモーション活動により、「めがねのまちさばえ」の全国的な認知度は大きく向上したと思われる。しかしながら、そのことが、人口流出の削減や鯖江市への移住者の増加に直接つながるのかというと、そこは違うのではないかとと思われる。全国的な認知度を上げることや移住者への支援策も大事なことはあるが、今後は、鯖江市民を意識した内向きのシティプロモーション活動が重要となってくるのではないかと。



答 鯖江市の認知度が向上してきたことを受け、今後、次の段階に進むに当たっては、移住者への支援策や外向きのシティプロモーション活動だけではなく、市内に住んでいる方に鯖江の良さを感じていただき、ふるさと愛を醸成していくことも必要だと考えている。新年度は、様々な角度から鯖江市の魅力を掘り起こし、融合させ、単にイベントを実施するだけではなく、実効性のある戦略を練り上げていく「地域ブランディング価値向上構築事業」に取り組みたい。

【議案第2号】令和4年度鯖江市一般会計予算

市役所組織体制の大きな転換を図るべき時が来たのではないかと？

問 市役所において、「過労死ライン」である月平均の残業時間が80時間を超える職員が相当数いるものと思われるとともに、フルタイム雇用の会計年度任用職員数が、現在100人を超えている。今日まで、市施設の指定管理者制度の導入や窓口業務の民間委託など、業務改善に取り組んではきているが、超過勤務時間や会計年度任用職員数を減らすことができないといった状況である。こうした雇用状況の中で、災害発生時における市役所としての大きな役割となる市民の安全・安心の確保ができるのか、危惧されるところである。今後、職員定数の是正をはじめ、組織体制の大きな転換を図っていくべきではないか。

答 フルタイム雇用の会計年度任用職員は、正職員が少ない中、現体制においては絶対的に必要な職員となっている。しかしながら、地方公務員の定年延長制度の開始も迫っていることから、業務の進め方や会計年度任用職員の在り方など、組織体制の大きな転換期を迎えてきていると認識しており、職員定数も含め、近いうちに新たな考え方を提案したいと考えている。